

# 平成 29 年度 重点目標の取り組みと成果

## はじめに

わが国では、高齢者人口が増加の一途をたどる一方、少子・高齢化も急速に進展しており、世界でも類を見ない超高齢社会に突入している。さらに、地域での人間関係や家族関係も希薄化が進み、高齢者の孤立、生活困窮、児童虐待など様々な問題が発生している。

国においては、「ニッポン一億総活躍プラン」のもと、「地域共生社会」を実現するため、地域に暮らす人たちが共に支えあい、地域の困りごとを他人事ではなく「我が事」として捉え、支え合う地域づくり、住民が主体的に課題を解決する力の再構築をめざすとしている。

本会においては、地区社協を核に、民生児童委員、福祉委員、自治会など関係者と連携・協働して地域での見守り支援活動を進めるとともに、平成29年3月に策定した第3次地域福祉活動計画に基づく取組を実施した。

また、公共性の高い民間組織として、財政の健全化に向けて、30年3月に財政安定化計画を策定し、30年度から目標値を定め取り組むこととした。

平成29年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進した。

### 1 第3次地域福祉活動計画の推進

第3次地域福祉活動計画を円滑に進めるため、20の取り組みごとに推進スケジュールを作成し、局内で進行管理会議を行った。また、外部の有識者による地域福祉活動推進会議を開催し、取り組みの進捗状況を報告した。

### 2 新市民福祉会館を活用した取り組み

4月1日に市民福祉会館機能の移転に伴い本会事務所をフェニックス・プラザ1階に移転した。4階にボランティアや福祉団体の活動拠点として2部屋分のボランティアルームと団らんスペースを整備したことにより利用団体が増えた。そして、ボランティアセンターの名称を「福井市社会福祉協議会ボランティアセンター」に改めた。ただし、平日時間外及び土日、祝日の鍵の管理が検討課題となった。

### 3 財政安定化計画の策定

平成30年度からの5カ年計画として財政安定化計画案（基本計画と実施計画）を事務局内で協議し、理事会で承認を受け、策定した。

主な取り組みとして財源確保策17項目、経費削減策7項目、数値目標として、財源確保策11項目、経費削減策6項目を挙げ、平成34年度までに収支の均衡を図っていく。

### 4 放課後児童会の充実

放課後児童会の夏季休業中の会費値上げを行い、これを財源として夏季休業中の支援員の加配やカウンセラー業務を発達障害相談支援事業所に業務委託し、夏季休業中の派遣回数を増やし、障害児等への支援の強化を行った。

# 平成 29 年度 事 業 報 告

## 1 法人運営事業

### <拠点区分 1>

適正な法人運営のため、理事会、評議員会を開催するとともに、法律、会計の専門家（弁護士、会計事務所）の協力を得て法令遵守の運営に努めた。また、財政の健全化を図るため財政安定化計画を作成した。

#### (1) 三役会 (4回)

- ① 5月23日（火） 福井市社会福祉協議会会議室
- ② 10月10日（火） 福井市社会福祉協議会会議室
- ③ 12月1日（水） 福井市社会福祉協議会会議室
- ④ 3月9日（金） 福井市民福社会館 301号室A・B

#### (2) 理事会 (7回)

- ① 第1回 4月1日（土） 決議の省略の方法にて開催  
第1号議案 平成29年度第1回評議員会の決議の省略についての決定  
第2号議案 副会長及び専務理事の選任について
- ② 第2回 5月16日（火） 決議の省略の方法にて開催  
第3号議案 評議員選定委員会の開催について  
第4号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
- ③ 第3回 6月9日（金） 福井市民福社会館 ボランティアルームB  
第5号議案 平成28年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算について  
第6号議案 平成29年度資金収支第1次補正予算について  
第7号議案 平成29年度第2回評議員会の開催について  
第8号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の廃止について  
第9号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について  
第10号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会非常勤職員の就業に関する規則の一部改正について  
第1号報告 評議員選定委員会の結果について  
その他 平成29年度福井市社会福祉協議会特別賛助会員の募集について
- ④ 第4回 6月27日（火） 福井市民福社会館 301号室A・B  
第11号議案 会長の選任について  
第12号議案 副会長の選任について  
第13号議案 専務理事の選任について  
第14号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会評議員選定委員会運営細則の一部改正について
- ⑤ 第5回 10月17日（火） 福井市民福社会館 301号室A・B  
第15号議案 第2回評議員選定委員会の開催について  
第16号議案 補欠の評議員候補者の推薦について  
第17号議案 福井市社会福祉協議会職務権限規程の一部改正について

- 第18号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- 第19号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会表彰規程の一部改正について
- 第2号報告 職務執行状況の報告について
- 協議事項 (1)指定特定相談支援事業の廃止について  
(2)財政安定化計画素案について
- その他 特別賛助会費の募集状況について
- ⑥ 第6回 12月19日(火) 福井市民福祉会館 301号室A・B
- 第20号議案 財政安定化計画案について
- 第3号報告 評議員選定委員会の結果について
- その他 特別賛助会費の募集状況について
- ⑦ 第7回 3月16日(金) 福井市民福祉会館 301号室A・B
- 第21号議案 平成29年度資金収支第2次補正予算について
- 第22号議案 定款の一部変更について
- 第23号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について
- 第24号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について
- 第25号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会経理規程の一部正について
- 第26号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会特定相談支援事業運営規程の廃止について
- 第27号議案 地域福祉基金の一部処分について
- 第28号議案 平成30年度事業計画並びに資金収支予算について
- 第29号議案 平成29年度第3回評議員会の開催について
- 第4号報告 財政安定化計画の一部修正について

(3) 評議員会 (3回)

- ① 第1回 4月1日(土) 決議の省略の方法にて開催
- 第1号議案 理事の退任に伴う補欠選任の件
- ② 第2回 6月27日(火) 福井市民福祉会館 301号室A・B
- 第2号議案 理事及び監事の選任について
- 第3号議案 平成28年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算について
- 第4号議案 平成29年度資金収支第1次補正予算について
- 第5号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会評議員の報酬等に関する規程の制定について
- 第6号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の制定について
- 第1号報告 評議員選定委員会の結果について
- その他 平成29年度福井市社会福祉協議会特別賛助会員の募集について
- ③ 第3回 3月27日(火) 福井市民福祉会館 301号室A・B
- 第7号議案 平成29年度資金収支第2次補正予算について
- 第8号議案 社会福祉法人福井市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 第9号議案 福井市社会福祉協議会地域福祉基金の一部処分について
- 第10号議案 平成30年度事業計画並びに資金収支予算について

第 2 号報告 評議員選定委員会の結果について  
 第 3 号報告 財政安定化計画の策定について

(4) 評議員選定委員会の開催 (2 回)

- ① 第 1 回 5 月 25 日 (金) 福井市社会福祉協議会会議室
- ② 第 2 回 11 月 20 日 (月) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監事監査の実施

5 月 17 日 (水) 市社協会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査 (5 回)

(7) 顧問弁護士の配置

懲戒情報開示請求事案について相談。

(8) 職員総数 448 名 [平成 30 年 3 月 31 日現在]

事務局職員 29 名  
 本 所 26 名 (常勤 17 名、市派遣 3 名、その他 6 名)  
 美山支所 1 名  
 越廼支所 1 名  
 清水支所 1 名

※本所のその他 6 名は非常勤職員

事業職員 419 名 (非常勤職員)  
 児童館 (館長、児童厚生員、代替厚生員、主任支援員) 88 名  
 放課後児童会指導員 251 名  
 自治会型デイホーム事業専任職員 49 名  
 日常生活自立支援事業生活支援員 27 名  
 地域子育て支援拠点事業専任職員 4 名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

地区自治会連合会 16 回 (前年度 16 回)  
 地区社協の総会など 35 回 (前年度 33 回)

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実績額	前年度との比較
一般会費 (年額 350 円/世帯)	23,798,595 円	17,143 円減
賛助会費 (1 口 1,000 円/個人)	10,517,150 円	158,347 円減
特別賛助会費 (1 口 10,000 円/法人・企業)	7,092,000 円	53,000 円増
合 計	41,407,745 円	122,490 円減

※特別賛助会員加入企業数 598 社 (前年度 592 社)

③ 寄付金

41件 492,025円 (前年度 43件 755,997円)

④ 財政安定化計画の策定

本会の財政上の現状と課題を明らかにし、今後5年間の方向性を示した基本計画と、17の具体的な取り組みや数値目標を示した実施計画を策定した。

⑤ チャリティ物品販売 (試行)

越前水仙の販売 12月8日から11日 収益30,970円

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 12件 (前年度 16件)

〈苦情申出人の属性区分〉

サービス利用者家族	6件
福祉サービス事業者	1件
地区社協関係者	1件
自治会関係者	1件
公民館職員	1件
一般市民	2件
合 計	12件

〈苦情の事業区分〉

法人運営	1件
会員会費募集	1件
福祉委員	1件
ボランティアセンター事業	1件
自治会型デイホーム事業	1件
児童館事業	1件
放課後児童会事業	5件
共同募金	1件
合 計	12件

〈苦情の内容区分〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	3件
職員の接遇に関わる事項	4件
その他	6件
合 計	13件

※1件の苦情受付で、2件の苦情内容があるため、合計に「1」の差異がある。

(11) 広報啓発活動の推進

① 社協だより「まごころ」の発行

年6回 各82,000部(全戸配布)

② 点訳社協だよりの発行

年6回 各38部

③ 音訳社協だよりの発行 (媒体をカセットからCDへ移行)

年6回 各6本

④ 社協のごあんない発行

年1回 A3(4つ折り)版19,000部

⑤ ホームページでの情報提供

<http://www.fukuic-shakyo.jp/>

⑥ Facebook での情報提供 <https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>

⑦ 福井市民福祉大会の開催（市と共催）

開催日 10月27日（金）

会場 福井市民福祉会館 小ホール

参加者 社会福祉関係者及び一般市民約 400 名

○第一部 式典

- ・市長表彰 14 名
- ・市社協会長表彰 6 団体 69 名
- 社会福祉施設功労者 25 名
- 社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者 18 名
- 優良地区社会福祉協議会 2 団体
- 永年勤続功労者 5 名
- ボランティア功労者 4 団体 13 名
- 福祉委員功労者 8 名

○第二部 研究発表

内容 「地域における『見守り』の実態とこれから～地区事例研究～」  
福井大学医学部看護学科4年生

○第三部 講演

内容 「しあわせな地域の育て方～小さなつながりからはじめよう～」  
講師 浄土宗善導寺 副住職 大門 哲爾 氏

(12) 災害への対応

①市災害ボランティアセンター連絡会への参画

第1回目 6月12日（月）

内容 平成28年度の取り組みと平成29年度計画について

第2回目 7月21日（金）

内容 災害ボランティアセンター開設・運営訓練の振り返り

第3回目 9月19日（火）

内容 災害ボランティアセンター運営ガイドラインの見直しについて

第4回目 12月12日（火）

内容 内部研修の報告、現地ボランティアセンターの活動内容の演習

第5回目 2月8日（木）

内容 災害ボランティアセンター運営ガイドラインの見直しについて  
訓練の実施 6月25日（日）

内容 災害ボランティアセンターの検証（社北小学校体育館）

内部研修の実施 10月28日（土）

内容 災害ボランティアセンターの運営と役割について

②30 豪雪への対応

恒例の雪かきボランティア活動（後述）

福祉委員への見守り、声かけの促し

## 2 地域福祉活動総合推進事業

### <拠点区分2>

#### (1) 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせる見守り、支え合いのまちづくりを進めるため、地区社協を核に、福祉委員、民生児童委員、自治会などの関係者に対し、地域づくりに取り組む支援を行った。

第3次地域福祉活動計画の事業を推進するため、地区の意向を調査し、取り組みスケジュールに沿って、9つの取り組みを企画実施し、4つの取り組みについて企画、調整、準備を行った。また、この活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、次年度に向けての改善につなげた。

##### ① 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協に対し、相談・助言等の支援を図るとともに活動費の補助を行うなどの連携・協働を図った。

##### ア 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援

地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。地区社協事務局会議等へも積極的に参加した。

・ブロック地区社協担当者会議の開催 年6回

##### イ ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実

##### ウ 地区社協課題解決ミーティングの開催

地区社協役員・事務局と福井市社協職員が、地区社協の運営や各地区の福祉課題について意見交換し、今後の活動を検討した。

・開催地区 17地区

##### エ 地区社協運営・事業推進のための助成

地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動 啓発ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金

##### ② ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

##### ア 新任福祉委員研修会

開催日 4月8日(土)

会場 フェニックス・プラザ 小ホール

内容 研修「福祉委員の役割」他

参加者 新任福祉委員等 68名

##### イ 福祉委員スキルアップ研修会

【活動計画No.17】

開催日 第1回 11月18日(土)

第2回 11月25日(土)

第3回 12月2日(土)

会場 第1回 県産業会館、第2、3回 本願寺福井別院

内容 講義と演習「楽しみながらかわる支援のあり方」  
同内容で3回開催

講師 県立大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 吉弘淳一 氏

参加者 第1回 132名、第2回 97名、第3回 58名、計 287名

##### ウ 見守り強化のための市や関係機関との協議

各地区でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援及び関係機関の連携が円滑に行えるよう、市地域福祉課、地域包括ケア推進課、介護保険課と協議した。

エ 地域包括支援センター等関係機関等との連携

高齢者が暮らしやすい地域社会づくりを目指し、地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、共に支援方法を協議したり、グループワークを行い、地域課題について話し合いを持った。

オ 地区社協単位での福祉委員と民生児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見守り関係者と研修、情報交換の場の設定 資料 1

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援を強化するため、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用しての情報交換会、地域包括支援センターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会、防災関連の講座等を行った。

カ 自治会型デイホーム、食事サービス事業を通じた見守りの強化

キ 支え合いマップ作成のためのツールの提供および活用の支援

福祉委員・民生児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する1地区へ新たに提供した。平成29年度末現在、36地区が支え合いマップを活用している。

ク 福祉委員ハンドブックの作成と活用

ケ ひとり歩き模擬訓練事業への協力

- 10月 7日(土) 中藤島地区
- 10月 8日(日) 足羽地区
- 10月 15日(日) 社南地区
- 10月 29日(日) 東安居地区、社西地区
- 11月 12日(日) 和田地区

コ 福祉委員アンケートの実施 【活動計画No.17】

見守り活動や研修などの活動強化に向けた取り組みに活かしていくため、全福祉委員を対象に福祉委員見守り活動アンケートを行った。

福祉委員 1,621名(10月1日現在) 回答者数 1,043名 回答率 64.3%

サ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体(自治会、民生委員、地区社協、保健衛生推進員等)と各種協力事業者

(新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者など)による高齢者などへの見守りネットワークづくりへ参画した。

シ 民生委員児童委員・福祉委員一斉合同研修会の共催

開催日 8月6日(日)

会場 フェニックス・プラザ 大ホール

内容 研修「民生児童委員、福祉委員として地域の課題にどう向き合うか」

講師 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏

③ 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めるとともに、地区社協相互の情報交換を図りながら地区社協連絡協議会を支援した。

ア ブロック地区社協活動補助金の交付

イ 地区社協会計手順の説明会

開催日 5月11日(木)



会 場 ボランティアルームA  
 内 容 地区社協会計と源泉徴収に係る説明会  
 参加者 地区社協事務局担当者等 48 名

ウ 新任地区社協会長情報交換会

開催日 7月7日(金)  
 会 場 ボランティアルームA  
 内 容 地区社協活動の基本説明と情報交換・意見交換  
 参加者 地区社協会長 16 名

エ 地区社協広報紙作成の講習会

開催日 11月1日(水)  
 会 場 ボランティアルームA  
 内 容 講義と演習 広報紙作成の基本他  
 講 師 大一印刷(株) 専務取締役 高橋 正勝 氏 【活動計画No.14】  
 参加者 地区社協会長 16 名

④ 各種地域福祉活動の推進

ア 広報支援 情報発信スキルアップ講座 【活動計画No.14】

開催日 第1回 11月18日(土)  
 第2回 11月25日(土)  
 第3回 12月2日(土)  
 会 場 ボランティアルームA  
 内 容 スマホ基礎、SNSって何?、Twitter&Facebookの基礎他  
 講 師 株式会社Cファクトリー 高橋 義英 氏  
 参加者 地区社協、当事者団体、ボランティアグループ等から各回 22 名、  
 計 66 名

㊦イ 社会貢献お見合い事業のニーズ調査 【活動計画No.6】

市内企業の社会貢献活動の現状を把握し、市内企業と、企業とのつながりを求める福祉サービス事業所やボランティアグループ、地区社協等を適切につなぐために、アンケート調査を行った。

特別賛助会員企業 524 社 (10月1日現在) 回答数 129 社 回答率 24.6%  
 社会福祉法人 54 法人 回答数 16 法人 回答率 29.6%  
 ボランティアグループ 148 団体 回答数 63 団体 回答率 42.6%

㊦ウ 福祉サービス事業者との情報交換会 【活動計画No.20】

開催日 11月28日(火)  
 会 場 社北公民館  
 内 容 社北地区社協と障がい福祉サービス事業所との情報交換会  
 参加者 社北地区の民生児童委員、福祉委員等 30 名  
 福祉サービス事業所 5 名

⑤中央いきいきサロン 【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障害者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、お茶会、学習会(防災教室)等	毎週金曜日 13:00~16:00 実施回数 48 回 会場 ボランティアルームA	延べ 790 名 (前年度延べ 1,017 名)

## ⑥第3次地域福祉活動計画の推進

第3次地域福祉活動計画の20の取り組みについて、調整、企画、実施を行った。

資料2

ア 地区社協へ意向調査

イ 地域福祉活動推進会議

開催日 3月22日(木)

会場 ボランティアルームA

内容 平成29年度の推進状況と平成30年度の予定他

参加者 16委員の内14名

### (2) 地区社協活動 啓発・ふれあい事業

地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。

#### ① ふれあい福祉まつり(47地区社協で開催)

資料3

地区社協単位で開催し、福祉まつりの事前広報、市社協・地区社協の活動紹介、共同募金運動の広報を必須とし、それ以外に各地区の独自メニューとして、「福祉・健康相談」「福祉用具展示」「車いす体験」など、日頃福祉やボランティア活動を意識しない人たちにも福祉やボランティア活動について、住民の理解を促す機会となった。

#### ② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、講演会や座談会等を開催した。

#### ③ 地区広報

各地区社協の活動の広報を、地区社協だよりやパネル製作で推進した。

### (3) 自治会型デイホーム事業

スペシャルデイホーム「こころもからだも健活講座」の開催により、デイホーム利用者の健康や介護予防に対する関心を高め、運動を継続することの重要性を伝えるきっかけとなった。また、専任職員にも、理学療法士や作業療法士を講師に招き、高齢者の身体的な特徴をはじめ、日常生活に必要な筋力を保つための体操について学ぶ研修を実施した。このことにより、デイホームのメニューにも運動の要素を加えたプログラムを積極的に取り入れることにつながった。

#### ① 職員配置

ア 企画職員 2名 社会福祉士等 事業の企画調整

イ 看護職員 1名 保健師(兼務) 健康情報の発信

ウ 指導職員 1名 事業の事務、集計等

エ 専任職員

担当地区の自治会型デイホーム事業の企画・運営。区域ごとに1名配置  
49名(2地区兼務者2名含む)

#### ② 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料4

ア 実施地区 49地区(51区域)で実施

イ 実施回数・実施箇所数

実施回数 延べ 3,604回(前年度 延べ 3,669回)

実施箇所数 521か所(前年度 507か所)

ウ 参加人数 延べ 70,020名(前年度 延べ 72,926名)

利用者数	延べ 49,558 名	(前年度 延べ 51,916 名)
実人数	9,743 名	(前年度 9,995 名)
協力者数	延べ 17,824 名	(前年度 延べ 18,299 名)
その他	延べ 2,638 名	(前年度 延べ 2,711 名)

エ 参加率

65 歳以上参加率	12.79%	(前年度 13.34%)
75 歳以上参加率	17.25%	(前年度 17.28%)

③ 実施内容

ア 必須メニュー

転倒骨折予防を目的とした「ふくいのだんどこ体操」と、認知症予防基本メニューを必須メニューとして実施した。

また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。

イ 通常メニュー

話し合い(ティータイム)や健康体操・レクリエーション・ゲーム・小物作りなどをベースに、季節感を出すとともに、平成 27 年度に実施した利用者アンケートを参考にしながら趣味や特技を生かしたプログラムを盛り込んだ。

ウ スペシャルデイホーム「こころもからだも健活講座」の開催

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による 3 回シリーズの介護予防教室を全地区(全区域)で実施した。

エ 防火教室、交通安全教室、防犯教室、消費者出前講座の実施

消防局	防火・救急法教室	22地区	延べ48回
警察署	交通安全教室	25地区	延べ59回
	防犯教室	18地区	延べ42回
市地域交通課	交通安全教室	27地区	延べ81回
市消費者センター	出前講座	17地区	37回

オ すかっとランド九頭竜での野外デイホーム(利用料の減免対応)

20 地区 23 回 利用者数 1,795 名

カ ふくい市民国際交流協会「国際交流事業」の開催

福井市内に在住の外国人(中国、ロシア、インドネシア等)との交流事業を実施した。

7地区 9回

④ 自治会型デイホーム事業運営委員会の開催

各地区社協単位で開催 全49地区社協 計 117回 開催

⑤ 会議・研修会の実施

ア 専任職員定例会の開催 年8回

イ 専任職員採用予定者研修

2月14日(火)～17日(金) 4日間 新規採用6名

ウ 専任職員研修会

7月24日(月) 専任職員50名

講義 「高齢者の身体機能の特徴を学ぶ」

講師 医療法人 健康会 嶋田病院 主任理学療法士 細川 昌樹 氏

9月25日(月) 専任職員50名

講義 「高齢者の日常生活に必要な筋力・体力を保つための運動を学ぶ」

講師 医療法人 穂仁会 福井リハビリテーション病院  
理学療法士 山本 敏幸 氏

11月27日（月） 専任職員50名

講義及び実技 「安全に楽しむことができるレクリエーション活動」

講師 医療法人 健康会

通所リハ健康の家 作業療法士 宇都宮 万葉 氏

嶋田病院 作業療法士 岡倉 勇斗 氏、清水 雅浩 氏

エ 地域福祉リーダー研修会

6月5日(月)、12日(月) 協力ボランティア及び専任職員等 124人

講義および実技：「AEDと救急法」

講師：福井市消防局 救急隊員各回5名

⑥ 利用促進事業

デジタルカメラ、カラオケセット、プロジェクター等を貸し出し、講座等の開催を行った。教養講座として、コーヒー講座や和菓子講座等を開催し、新規利用者の利用促進を行った。

貸出実績 20回（前年度37回）

教養講座回数 40回（前年度51回）

(4) ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に、49地区社協が実施主体となり、配食や会食会を実施した。

① 実施回数、食数 ※（ ）内の数字は前年度実績

実施地区	49地区	
実施回数	延べ469回（473回）	
形態	配食	延べ392回（388回）
	会食	延べ77回（85回）
提供食数	延べ18,701食（18,566食）	
利用実人数	2,947名（2,859名）	
協力者数	延べ5,971名（5,901名）	
運営委員会開催	延べ158回（154回）	

② 衛生管理・食中毒予防対策

使い捨て手袋、マスクを各地区に配布。

③ 地域福祉リーダー研修会の実施

開催日 5月26日（金）

会場 福井県立図書館 多目的ホール

参加者 食事サービスに関わる役員、ボランティア等 86名

内容 講義「食事サービス事業における衛生管理の留意点について」

講師 福井健康福祉センター 生活衛生課 前田 央子 氏

講義「もらって嬉しい！高齢者が喜ぶお弁当づくりのコツ」

講師 福井県栄養士会 管理栄養士 木下 充子 氏

### 3 ボランティアセンター事業

#### <拠点区分3>

住民がボランティア活動に興味を持ち、かつ気軽に参加できるようにボランティア講座を開催し、活動の機会の提供を行った。講座は、複数回シリーズにすることで参加者同士の交流を深め、グループ結成や既存グループへの加入を呼びかけ、実際の活動につなげた。

また、地域ぐるみでの福祉教育を推進するため、福祉体験学習に地区社協や福祉教育サポーターの協力を得ながら、福祉体験プログラムの充実に努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

#### (1) ボランティアセンターの職員の配置

2名のボランティアコーディネーターが、ボランティアの需給調整に関する相談や各種講座の企画・実施、情報発信などを行った。

#### (2) ボランティア活動推進委員会の開催

ボランティア活動、福祉教育の普及と推進を図るために、各種関係機関で委員構成しているボランティア活動推進委員会を開催した。

##### ① 第1回ボランティア活動推進委員会

開催日 11月20日(月)

- 内 容
- ・平成28年度 事業報告と成果
  - ・平成29年度 現時点での事業報告と今後の予定
  - ・福祉教育の現状について(小・中学校)
  - ・高校生のボランティア活動の推進について
  - ・第三次地域福祉活動計画に基づいた事業について
  - ・平成29年度ボランティアルームの利用状況について 他

#### (3) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 891件(前年度 584件)

② ボランティアの需給調整 ※( )は前年度の数字

項目	件数	備考
1. ボランティア相談	352件(300件)	
①ボランティア活動希望	16件(13件)	
②ボランティア派遣希望	246件(221件)	
③その他の相談	90件(66件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	286件(270件)	
①活動紹介	173件(181件)	
②情報提供	39件(53件)	
③他機関紹介	7件(6件)	
④広報	26件(10件)	
⑤その他	41件(20件)	

③ 福井市ボランティアセンター新規登録者数 13名(男5名、女8名)

④ ボランティア活動者の把握数 ※( )は前年度の数字

個人	—	1,680名(1,928名)
団体	301団体(300団体)	10,873名(10,203名)
合計	301団体(300団体)	12,553名(12,131名)

(物品の預託)

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ・チケット他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出しを行った。

⑤ バリアフリーチェック 2017 の開催 【活動計画 No. 7】

(高校生向けボランティア体験)

開催日 7月27日(木)、8月11日(金)、11月11日(土)

会場 ボランティアルームA

内容 ・事前学習会  
・田原町駅周辺のバリアフリーチェック  
・報告会

参加者 70名

⑥ ボランティア講座の開催

① ア 布のおもちゃ製作と活動体験講座 【活動計画 No. 7】

(高校生向けボランティア体験)

開催日 11月5日(日)、18日(土)

会場 アオッサ6階603号室、ボランティアルームA

内容 ・オレンジリボン運動2017(福井市及び仁愛学園主催)の子ども笑店で、おもちゃ箱の会が出展する布のおもちゃコーナーで子ども達と交流  
・布のおもちゃの製作

講師 おもちゃ箱の会(会員3名)

参加者 5名

② イ 子育て支援・交流の場(ふくい市民国際交流協会との共催) 【活動計画 No. 11】

開催日 12月3日(日)

会場 アオッサ6階調理室、レクレーションルーム

内容 外国人の父母を対象として日本のお弁当を作り、その後情報交換を行う

③ ウ お話し相手ボランティアスキルアップ講座

開催日 1月21日(日)

会場 ボランティアルームA

内容 ・認知症への理解と対応についての講義とグループワーク  
・情報交換会

講師 県認知症キャラバン・メイト協議会  
事務局長 吉村 和真 氏

参加者 20名

エ マラソン伴走ボランティア体験講座 【活動計画 No. 7】

(高校生向けボランティア体験)

開催日 2月17日(土) ※雪のため中止

会場 旭小学校体育館

内容 ・オリエンテーション  
・ボランティアや障がいへの理解についての講義  
・伴走の演習

講師 社会福祉法人足羽福祉会 あすわ地域生活支援センター職員

- 参加者 14名
- オ ボランティアアカデミー「福祉コース」(市総合ボランティアセンター共催)  
 開催日 6月8日(木)～29日(木)(全4回シリーズ)  
 会場 市総合ボランティアセンター交流ひろば  
 内容 高齢者福祉の理解を深める  
 参加者 10名
- カ ボランティア受入れスキルアップ研修(市総合ボランティアセンター共催)  
 開催日 3月13日(火)  
 会場 市総合ボランティアセンター交流ひろば  
 内容 施設・団体におけるボランティアマネジメントの基本  
 講師 社会福祉法人 大阪ボランティア協会常任運営委員  
 龍谷大学社会学部 現代福祉学科 教授 筒井 のり子 氏  
 参加者 27名
- キ メンタルに課題を抱えるボランティアの対応に関する研修会  
 開催日 3月15日(木)  
 会場 ボランティアルームB  
 内容 ・こころの病気の種類や症状についての講義  
 ・事例検討  
 講師 県精神保健福祉士協会会長 福山 佳之 氏  
 参加者 12名

⑦ ボランティア情報の発信

【活動計画 No. 16】

- ・ボランティア情報紙の発行  
 回数 年12回(毎月1日発行)  
 部数 3,000部(ただし、社協だより発行月は3,700部)  
 設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所
- ・ホームページによる情報提供(随時)

キ 「ボランティア活動のしおり」の製作 1500部

キ 「やさしくなれる出会いがあります」の製作 5000部

⑧ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設およびボランティア募集について

市内在住の障害者や高齢者の非課税世帯で、同居または近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月1日から翌年3月15日まで開設し、11日延べ30世帯、延べ126名が活動した。 ※( )は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	258件(9件)
ボランティア活動希望者数	32名(34名)
ボランティア依頼世帯数	18世帯<障害者世帯14世帯、高齢者世帯4世帯> (9世帯(障害者世帯8世帯、高齢者世帯1世帯))
ボランティア活動日数	11日(2日)
ボランティア活動者数(延べ)	126名(18名)

⑨ ボランティア連絡協議会への支援

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

- ・ユニークダンスパーティー

開催日 12月10日(日)

会場 フェニックス・プラザ 小ホール

・「生きるとは？」自主上映会&チャリティーコンサート 2018

開催日 3月10日(土)

会場 フェニックス・プラザ 小ホール

⑩ 福井市民福祉会館ボランティアルーム等の利用説明会

5月25日(木) 昼・夜開催 28団体参加

⑪ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請

(平成30年3月31日現在)

- ・市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録(50団体)
- ・登録団体の内、ボランティアルーム設置の保管庫の利用(21団体)
- ・登録団体の内、ボランティアルーム設置のコピー機の利用(26団体)
- ・ボランティアルーム利用人数(9,813名)

⑫ ボランティア保険の加入促進

- ・ボランティア活動保険 加入受付数 7,416名(前年度6,805名)
- ・ボランティア保険等の加入のための普及啓発

⑬ 車椅子の貸出し 124件(前年度156件)

⑭ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し 8件(前年度9件)

⑮ 「福井市ボランティアネット」の運営協力

#### (4) 福祉教育の推進

① 学校での福祉体験講座などへの支援協力

相談・コーディネート等 97件(前年度90件)

② 学校での福祉体験講座(講師紹介) 延べ60校(前年度47校)

③ 福祉教育サポーター養成講座の開催

【活動計画 No. 3】

開催日 7月10日(月)

会場 ボランティアルームA

内容 ・福祉教育と福祉体験活動の実際

・福祉体験活動ゲスト講師の話

・車いす、ガイドヘルプ、高齢者疑似体験の留意点の説明

参加者 10名

④ 教職員課題別研修「福祉教育を考える講座」の開催

【活動計画 No. 3】

(市教育委員会との共催)

開催日 8月9日(水)

会場 市研修センター

内容 福祉教育が果たす役割について

講師 富山短期大学福祉学科 教授 関 好博 氏

参加者 40名(市内小中学校教職員)

⑤ 福祉教育サポーター懇談会

開催日 3月19日(月)

会場 セミナールーム

内容 平成29年度の活動報告と懇談会

参加者 5名

⑥ 市内県立高校への学校訪問(ボランティア活動の普及啓発活動)

～各校のボランティア活動の現状と今後の活動について情報交換～【活動計画 No. 7、16】

	学校名	学校訪問日
--	-----	-------



1	藤島高等学校	6月13日(火)
2	高志高等学校	6月28日(水)
3	羽水高等学校	7月4日(火)
4	足羽高等学校	7月5日(水)
5	福井農林高等学校	7月6日(木)
6	科学技術高等学校	7月7日(金)
7	福井商業高等学校	6月27日(火)
8	啓新高等学校	6月27日(火)
9	仁愛女子高等学校	6月22日(木)
10	福井高等学校	6月23日(金)
11	福井南高等学校	6月20日(火)
12	北陸高等学校	7月4日(火)

(5) 関係機関団体との連携、協働活動の推進

市総合ボランティアセンター運営委員会への参加

第1回 4月13日(木)

内容 減免認定団体の審査、総合VCの前年度事業報告、前期の事業計画

第2回 7月12日(水)

内容 減免認定団体の審査、総合VCの運営状況

第3回 10月5日(木)

内容 減免認定団体の審査、総合VCの運営状況(前期)と後期の事業紹介

第4回 1月17日(水)

内容 減免認定団体の審査、総合VCの後期事業の報告、次年度の事業計画

## 4 障害者相談支援事業

### <拠点区分4>

指定計画相談支援事業、指定障害児相談支援事業等を実施し、障害者や家族からの日常生活に関する相談やサービス利用およびサービス等利用計画作成に関する相談に対応した。

(1) 指定計画相談支援事業及び指定障害児相談支援事業

① 開設状況

月～金曜日の8:30～17:15(祝日・年末年始は休業)

② 職員配置

常勤職員 専従1名 兼務3名 (相談支援専門員)

③ 相談件数

延べ898件

④ サービス等利用計画作成状況

累計 59件(計画相談支援 56件 障害児相談支援 3件)

(2) 福井市障がい者生活訓練事業

障がい者の社会参加を進める事業として実施してきたが、協力団体(あじさいの花びらクラブ)の解散に伴い、平成29年度限りで終了した。

① 社会体験活動(3回)

開催日 5月21日(日)  
 会場 ラブリーパートナー Lpa  
 内容 選択活動 映画鑑賞または買い物  
 参加者 障がい者 17名、学生ボランティア 5名

開催日 11月26日(日)  
 会場 福井大学 体育館  
 内容 スポーツ大会(ボール送りやドッジボール)  
 参加者 障がい者 17名、学生ボランティア 5名

開催日 2月25日(日)  
 会場 ボランティアルームA  
 内容 カレンダー作り  
 参加者 障がい者 20名、学生ボランティア 2名

② 料理教室等 (2回)

開催日 7月23日(日)  
 会場 すかっとランド九頭竜  
 内容 バーベキュー  
 参加者 障がい者 21名、学生ボランティア 6名

開催日 10月22日(日)  
 会場 アオッサ 調理室  
 内容 フルーツケーキ作りの調理実習を体験  
 参加者 障がい者 21名、学生ボランティア 6名

(3) 福井市精神障害者ボランティア団体支援事業

① 精神障がい者およびボランティアによる「つどい」の開催

精神障害者の心身機能の回復を図るため、精神保健ボランティアグループの協力を得て「さわやかサロン」を開催し、ふれあいや交流を通じて仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、ゲームなど	毎月第2木曜日 13:00～16:00 毎月第4火曜日 13:00～16:00 実施回数 24回 会場 ボランティアルームAまたはB	延べ 86名 (前年度 延べ 103名)
リラクゼーション体操教室	2月28日(火) 講師 (特非) 生涯体育学習振興機構 理事長 漆崎由美氏(健康運動指導士) 会場 フェニックス・プラザ4階 内容 体の無駄な力を抜き、心をほぐす体験	
お抹茶体験	3月8日(木) 会場 ボランティアルームA 内容 お抹茶体験	

## ②学習会の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
11月9、16日(木)	「こころのケアとは」	松原病院 代表理事 松原六郎氏	延べ 52名
3月19日(月)	「SSTの技法を通して患者さんへの対応を学ぶ」	新田塚医療福祉センター 精神保健福祉士 虎尾 浩美氏	22名

## ③連絡懇談会の開催

開催日	内 容	参加者
3月8日(木)	今年度の活動の振り返りと次年度の活動について情報交換	市社協職員4名 クレヨン会員5名

# 5 子ども・子育て支援事業

## <拠点区分5>

### (1) 児童館の管理運営

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年10回以上実施した。また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図るとともに、中学生の来館を促進するため、中学生を対象とした行事や中学生の部活発表などを開催した。防犯対策で、福井市が防犯カメラが設置された。

### ① 児童館の管理運営 (合計26館)

資料5

つばき、ひまわり、さざんか、さつき、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、あさがお、たんぽぽ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

ア 職員体制 館長 26名 児童厚生員 50名 代替厚生員 3名  
主任支援員 3名

イ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)

ウ 開館時間 12:00～18:00(長期休業中は8:30～18:00)

エ 利用者数 延べ 328,581名(前年度 337,806名)

(内訳) 一般来館者数 延べ 56,261名(前年度 61,037名)

放課後児童会利用児童 延べ 272,320名(前年度 276,769名)

オ 地域連携行事参加者数 延べ 75,904名(前年度 81,984名)

カ ボランティア活動者数 延べ 1,082名(前年度 1,854名)

キ 子育てひろばの開催 1,082回 延べ 12,554名

(前年度 1,063回 12,189名)

ク 中学生の来館者数 延べ 966名(前年度 938名)

※実績には、げんキッズ育成事業の実績も含む。

### ② 児童館正・副運営委員長会議

開催日 3月19日(月) 13:30～15:00

会 場 福井県社会福祉センター

内 容 平成 29 年度運営報告、平成 30 年度事業計画説明及び、子ども・子育て支援新制度について

③ 児童館長会議の開催 年 7 回開催

開催日 4 月 27 日 (木)、6 月 20 日 (火)、9 月 19 日 (火)、10 月 31 日 (火)  
12 月 7 日 (木)、1 月 30 日 (火)、3 月 8 日 (木)

④ 児童厚生員連絡会

開催日 6 月 29 日 (木)

会 場 フェニックス・プラザ 3 階 301 号室

内 容 情報交換会

参加者 厚生員 57 名

⑤ 児童館職員研修の実施

ア 児童館館長研修会

開催日 7 月 4 日 (火)

会 場 福井県立図書館文書館 研修室

内 容 「信頼につながる苦情対応の方法」

講 師 オフィス上村 代表 上村泰子 氏

参加者 27 名

イ 児童館職員現任研修会

(i) 救命救急法講習会

開催日 6 月 8 日 (木)、13 日 (火)、15 日 (木)

会 場 福井市防災センター

内 容 救助・AED での心肺蘇生法

講 師 福井市消防局職員

参加者 館長、厚生員、指導員 160 名

(ii) 児童厚生員研修会

・第 1 回

開催日 6 月 29 日 (木)

会 場 福井県社会福祉センター

内 容 聞きあうためのコミュニケーション  
～自分にきつき、相手を思う～

講 師 ひと・げんばサポートセンター 代表 藤田 正一 氏

参加者 厚生員 56 名

・第 2 回

開催日 9 月 5 日 (火)

会 場 フェニックス・プラザ 4 階 402 号室

内 容 分かったださい発達障がい

講 師 福井医療大学リハビリテーション学科言語聴覚学専攻  
教授 齋藤 吉人氏

参加者 館長、厚生員 42 名

・第 3 回

開催日 10 月 19 日 (木)

会 場 福井市美術館

内 容 蓄光粘土でマスコットを作ろう、各館で作成した作品紹介

講師 福井市美術館スタッフ

参加者 館長、厚生員 48 名

・第 4 回

開催日 2 月 20 日 (火)

会場 フェニックス・プラザ地下大会議室

内容 認める・伝えるコミュニケーション

講師 WACHIKA 代表 阿隅 和余氏

参加者 館長、厚生員 83 名

・第 5 回

開催日 3 月 12 日 (月)

内容 児童館運営マニュアル説明

講師 福井市社会福祉協議会総務企画課課長補佐 渡邊 清幸

参加者 厚生員 58 名

(iv) 放課後児童会指導員研修会

開催日 9 月 27 日 (水)、29 日 (金)

会場 福井県自治会館 2 階 201 号室

内容 不審者が侵入した際の対応方法

講師 福井警察署生活安全課職員

参加者 館長、厚生員、指導員 135 名

⑥ 児童館事業の広報活動

ア 社協だより「まごころ」掲載、児童館だよりの自治会回覧

イ 市社協ホームページで各児童館活動紹介

ウ 児童館のしおり「遊びにいこうよ！みんなの児童館」発行

エ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

⑦ 施設の修繕

まきやま児童館外壁修繕他 3 3 件

(2) げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」

② 職員体制 館長 2 名、児童厚生員 4 名

③ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)

④ 開館時間 12:00～18:00 (長期休業中は 8:30～18:00)

⑤ 利用者数 延べ 21,034 名 (前年度 22,056 名)

(内訳) 一般来館者数 延べ 3,302 名 (前年度 3,336 名)

放課後児童会利用児童 延べ 17,732 名 (前年度 18,720 名)

⑥ 地域連携行事参加者数 延べ 4,246 名 (前年度 4,652 名)

⑦ ボランティア活動者数 延べ 272 名 (前年度 242 名)

⑧ 子育てひろばの開催 77 回 延べ 424 名  
(前年度延べ 59 回 461 名)

⑨ 中学生の来館者数 延べ 44 名 (前年度 10 名)

⑩ 施設の修繕

あじさいじどうかんプレイルーム壁補強他 2 件

(3) 放課後児童会事業の運営

新たに、もくせい児童館で放課後児童会を開設し、市内すべての児童館で、日中留守家庭児童の支援を行った。

平成27年度から新設された資格要件である「放課後児童支援員認定研修」には、厚生員、指導員あわせて39名が受講し、修了した。(累計138名)

① 放課後児童会の設置 28 会

児童館に放課後児童会を設置

② 登録児童数 1,509 名 (短期含む) (前年度 1,468 名)

③ 放課後児童会時間延長事業の実施

利用者 897 名 (短期含む) (前年度 912 名)

④ 夏季休業中の会費の改定

8 月分の会費を改定し、10,000 円とした。会費の値上げ分は、指導員や放課後児童会カウンセラーの増員に充て、児童の安全な居場所づくりに努めた。

⑤ 障害児等の専門カウンセラーの派遣

派遣件数 180 件 (前年度 85 件)

⑥ 不審者対応

ア 福井市が防犯カメラ設置 (25 館)

イ 全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練

⑦ 施設の修繕

プレイルーム床ライン塗装 18 会

⑧ 平成 30 年度入会希望児童の調整

ア さざんか放課後児童会 (木田地区)

定員 60 名のところ、79 名を受入れた。夏季休業までに木田小学校内に居場所を整備し、高学年を中心に利用する予定になっている。

イ あさがお放課後児童会 (麻生津地区)

定員 60 名のところ、83 名の入会申し込みがあり、そのうち、10 名を、もくせい放課後児童会にタクシーで送る手配をした。

(4) 移動児童館の運営

もくせい児童館を拠点として、東足羽 3 地区の公民館、集会所等を利用して児童厚生員が出向いて移動児童館事業を実施した。

巡回会場	一乗、上文殊、六条
実施回数	延べ 13 回 (前年度 13 回)
利用児童数	延べ 259 名 (前年度 318 名)

(5) 地域子育て支援拠点事業

清水保健センター内で子育て支援室「赤とんぼ」を開催している。福井市南西部にお住まいの方を中心に広く利用され、近隣の市町の方も来られている。季節に応じた行事や遊びに加え、保育士を常駐させて子育ての相談や、保健センターと連携した保健師による健康相談ができ、利用者から好評を得ている。

① 実施内容

主に3歳までの乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集う交流の場を設けるとともに、専任職員4名を配置し、相談支援などを行った。

- ② 開催日 毎週月～金曜日 10:00～16:00
- ③ 開催会場 清水保健センター内 子育て支援室「赤とんぼ」
- ④ 開催日数 年間240日
- ⑤ 利用者数 延べ10,147名（前年度 13,603名）
- ⑥ 行事内容
- 4月26日（水）こいのぼり作り
  - 5月18日（木）ベビーヨガ
  - 5月29日（月）ミュージック・ケア
  - 6月08日（木）歯医者さんに聞いてみよう
  - 6月15日（木）作って遊ぼう
  - 6月21日（水）親子体操
  - 7月03日（月）七夕飾り作り
  - 7月11日（火）保健師さんに聞いてみよう
  - 7月20日（木）入園に向けて聞いてみよう
  - 7月24日（月）～8月18日（金）中庭で水遊び
  - 8月28日（月）応急処置教室
  - 9月14日（木）ミニ運動会 おじいちゃん、おばあちゃんとの交流会
  - 9月27日（水）がっちゃんのお話会
  - 10月12日（木）ほめ方教室
  - 10月18日（水）親子で遊ぼう
  - 10月26日（木）作って遊ぼう
  - 11月07日（火）交通安全教室
  - 11月14日（火）ママもリラックス
  - 11月24日（金）栄養士さんに聞いてみよう
  - 12月13日（水）歯医者さんに聞いてみよう
  - 12月14日（木）クリスマス会 おじいちゃん、おばあちゃんとの交流会
  - 1月19日（金）ベビーヨガ
  - 1月29日（月）豆まき
  - 2月15日（木）親子体操教室
  - 2月26日（木）ひなまつり会
  - 3月13日（火）ママもリラックス
  - 3月23日（金）お楽しみ会
- ⑦ 相談件数 66件（前年度 81件）

## 6 セーフティネット支援対策事業

### <拠点区分6>

#### (1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者等の福祉サービス利用援助、日常的  
金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支  
援した。多重債務や矯正施設等を退所した高齢者・障害者の地域移行支援等に係る  
困難ケースが増加しており、関係機関と連携し対応した。

##### ① 職員配置（平成30年3月31日現在）

- ア 専門員 3名（専任1名・兼任2名）
- イ 生活支援員 32名（常勤1名・非常勤31名 その他登録者14名）

##### ② 利用状況

ア 契約件数累計 456件（うち平成29年度新規契約件数 19件）

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計（前年度）
274件	77件	96件	9件	456件(437件)

イ 現利用者件数 122件（平成30年3月31日現在）

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計（前年度）
46件(29)	32件(8)	43件(19)	1件(0)	122件(119件)

※利用者のうち生活保護受給者56名（45.9%）

※（ ）内は生活保護受給者

##### ③ 相談状況

本事業の利用に関するもの				合計（前年度）
認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	
2,036件	1,160件	1,706件	14件	4,916件(4,420件)

##### ④ 成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計（前年度）
6件	1件	1件	0件	8件(12件)

##### ⑤ 事業説明会等

- ア 生活保護定例会学習会（市地域福祉課主催）  
5月11日（木）生活保護ケースワーカー対象
- イ 相談協力員・介護支援専門員合同研修会（九頭竜包括支援センター主催）  
6月17日（土）管内相談協力員・介護支援専門員対象
- ウ 包括支援センター社会福祉士連絡会勉強会（包括支援センター社会福祉士連絡  
会主催）  
10月24日（火）包括支援センター社会福祉士対象
- エ 社・清明・麻生津地区権利擁護勉強会（社・みなみ包括支援センター主催）  
2月22日（木）管内介護支援専門員対象

##### ⑥ 広報啓発活動

ホームページで事業広報サイト掲載

#### (2) 生活福祉資金貸付事業

失業者世帯や低所得世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資  
金貸付制度、臨時特例つなぎ資金貸付制度に関する相談を受けた。また、県社協  
による滞納案件の償還指導等に協力した。



- ① 相談件数 延べ 608 件 (前年度 486 件)
- 申請件数 延べ 020 件 (前年度 27 件)
- 貸付件数 延べ 018 件
- 市内貸付件数 (県社協受付分含) 51 件 (前年度 71 件)
- (内訳) 総合支援資金 0 件 (前年度 7 件)
- 福祉資金 5 件 (前年度 1 件)
- 緊急小口資金 21 件 (前年度 41 件)
- 教育支援資金 10 件 (前年度 7 件)
- 臨時特例つなぎ資金 15 件 (前年度 15 件)
- ② 貸付総額 9,421,734 円 (前年度 9,640,510 円)

## 7 共同募金配分事業

### <拠点区分7>

福井市共同募金委員会からの助成を受け、広報啓発事業、見守り支援事業、地域福祉活性化事業などを行った。

#### (1) 広報啓発事業

- ① 社協だより「まごころ」の発行  
年 6 回 各 82,000 部 (全戸配布)
- ② ボランティア情報紙の発行  
回 数 年 12 回 (毎月 1 日発行)  
部 数 3,000 部 (ただし、社協だより発行月は 3,700 部)

#### (2) 見守り支援事業

- ① 福祉委員設置助成  
福祉委員設置地区 49 地区 (1,622 名)  
福祉委員活動推進費補助 1 名につき 2,000 円
- ② 新任福祉委員研修会の開催  
途中交替の 236 名の福祉委員に対し、新任福祉委員研修会を開催した。2 地区 88 名は、地区で行った。  
開催日 4 月 8 日 (土)  
会 場 フェニックス・プラザ 小ホール  
内 容 研修「福祉委員の役割」他  
参加者 68 名
- ③ 福祉委員ハンドブック作成  
福祉委員ハンドブック 1,000 部を作成し、翌年度委嘱の新任福祉委員準備に活用した。
- ④ 支え合いマップ作成  
地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。

- (3) 地域福祉活性化事業助成 49 地区 904,900 円  
前々年度大口募金実績額に基づく助成

- (4) 緊急災害援護配分金  
60,000 円 (火事見舞い 4 件 10,000 円×3 件、30,000 円×1 件)

(5) 歳末たすけあい配分金事業

① 障がい当事者対象の防災講座の開催

【活動計画No.18】

開催日 1月14日(日)

会場 ボランティアルームA

内容 研修「障がいのある方と地域の防災力を高める講座」

講師 NPO法人日常生活支援ネットワーク

コーディネーター 椎名 保友 氏

参加者 15名

② ひまわり子ども食堂への助成

③ 生活困窮者への食糧支援

## 8 基金運営事業

### <拠点区分8>

地域福祉基金を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。使途選択寄付により地域福祉基金に1件56,000円、災害ボランティア基金に1件14,000円積み立てを行った。

(1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 285,184,928円(前年度 288,463,863円)

(2) 災害ボランティア基金運営事業

基金残高 1,325,882円(前年度 1,311,620円)

## 9 駐車場運営事業

### <拠点区分9>

故谷口フサノ氏の自宅跡地(毛矢3丁目7番4号)を貸駐車場(5台分)として賃貸した。

駐車場賃貸収入 5台分 240,000円(前年度 245,677円)

## 10 自動販売機設置運営事業

### <拠点区分10>

市民福祉会館2台 売上 151,833円(前年度 83,142円)

ほかに株式会社ウララコミュニケーションズ、湊地区社会福祉協議会・湊公民館に自動販売機を設置いただき、売上の一部5,579円を寄付していただいた。

## 11 関係機関団体への支援・協力

(1) 各種委員会・会議への参加協力(出席者)

- ・福井県社協理事(会長)
- ・福井県共同募金会理事(会長)
- ・福井県健康福祉センター運営協議会委員(会長)
- ・青少年育成福井市民会議監事(会長)
- ・福井市交通安全対策協議会(会長)
- ・福井市民生委員推薦会委員(会長)
- ・福井市国民保護協議会委員及び幹事(会長、次長)
- ・福井市防災会議委員及び幹事(会長、次長)
- ・福井市ふれあい公社評議員(会長)
- ・第73回国民体育大会福井市実行委員会常任委員(会長)

- ・「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員（会長）
- ・公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員（会長）
- ・福井市中心市街地活性化協議会（会長）
- ・福井刑務所視察委員会委員（副会長）
- ・福井市国民健康保険運営協議会委員（理事）
- ・福井市功労者選考委員会委員（評議員）
- ・福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員（専務理事）
- ・福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員、委員（専務理事、評議員）
- ・福井市明るい社会づくり推進協議会常任理事（専務理事）
- ・福井県福祉人材センター運営委員（専務理事）
- ・福井市空き家対策協議会（次長）
- ・福井市子ども・子育て審議会委員（次長）
- ・福井市ふれあい公社第三者委員（次長）
- ・福井市要保護児童対策地域協議会(総務企画課課長、総務企画課担当職員)
- ・福井市放課後子ども総合プラン運営委員会委員（総務企画課長、児童館長）
- ・福井市児童クラブ連絡協議会常任理事（総務企画課担当者）
- ・全国児童館・児童クラブ福井大会委員（総務企画課担当者、児童館長）
- ・福井市男女共同参画審議会委員（児童館長）
- ・福井市学校不適応対策事業推進会議（児童館長）
- ・福井市地域包括ケア推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市介護予防・生活支援サービス推進会議（地域福祉課長）
- ・福井市認知症施策検討協議会（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者施策推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課長）
- ・福井市消費者センター運営協議会（地域福祉課担当者）
- ・地域精神保健福祉業務連絡会副会長、委員（地域福祉課長及び担当者）
- ・福井県内社協職員協議会役員（地域福祉課職員）
- ・平成 29 年度東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会実行委員会（総務企画課職員）
- ・福井県内社協職員重点強化事業推進チーム（地域福祉課職員）

## （２）後援事業

- ・2017 年度全腎協全国大会 I Nふくい
- ・ハナスバ 2017 映画「L I S T E N」上映会&トーク
- ・みんなで舞台に立とう！シーズン 12
- ・絵画展「口と足で表現する世界の芸術家たち」
- ・第 22 回福井シルバーバレーボール交歓全国大会
- ・D e c o と B o c o ぎゅっとあわせて 14 人の夢と希望 since2016
- ・平成 29 年度すこやか長寿祭
- ・オープン・コム in サマー
- ・ハナスバ 2017 〈9 月〉 映画「記憶と対話～マイノリマジョリテ・トラベル、10 年目の検証」上映会&トーク

- ・第16回市医師会市民公開講座
- ・にこにこクラブ SUNFISH スイミングフェスティバル 2017
- ・スミセイウエルネスセミナー
- ・25周年記念レクリエーションふれあい講座
- ・ミナブタフェス
- ・第2回ふくい終活フェア
- ・第18回福井県障害者ハートフル文化祭
- ・平成29年度福井市身体障害者福祉大会
- ・福井県における障害者文化芸術活動推進のための研修会
- ・障がいのある人の「今とこれからの“自分のしたい暮らし”をささえる」
- ・第39回ユニークダンスパーティー
- ・第1回あじさい元気カラオケ大会
- ・第6回足羽川ふれあいマラソン
- ・第31回三世代合同のつどい
- ・第1回チェアサッカー交流大会
- ・第9回福井県障害者フライングディスク大会
- ・耳の日記念フェスティバル 2018
- ・自主上映会&チャリティーコンサート 2018（東日本大震災・熊本地震）
- ・障がいのある人の災害時の暮らしのための講座
- ・世界自閉症啓発デー2018in 風の森

### (3) 社会福祉援助技術現場実習等の受け入れ

- ① 福井県立大学 1名  
10月2日（月）～11月13日（月）  
社会福祉士受験資格修得のための実習
- ② 福井市医師会看護専門学校 33名  
8月23日（水）～8月30日（水）16名  
9月1日（金）～9月8日（金）17名  
自治会型デイホーム事業での実習

### (4) 三市（金沢市・富山市・福井市）社協懇談会の開催

開催日 12月14日（木）  
 会場 福井市民福祉会館 ボランティアルームB他  
 参加者 25名（うち本会職員15名）  
 内容 新市民福祉会館見学  
 各社協の課題、法人連携、生活支援体制整備事業等の情報交換

## 12 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金は目標額、前年度実績ともに下回る結果となった一方、11年ぶりに再開した歳末たすけあい募金は、福井市明るい社会づくり推進協議会と高校生ボランティアの協力を得て、目標額を上回ることができた。

## 【一般募金】

(単位 円)

募 金 種 類	目 標 額	実 績 額	差 異 額
戸 別 募 金	11,060,000	11,036,314	△23,686
大 口 募 金	9,020,000	8,611,813	△408,187
街 頭 募 金	420,000	284,263	△135,737
学 校 募 金	1,030,000	797,754	△232,246
職 域 募 金	2,590,000	2,511,725	△78,275
法 人 募 金	450,000	459,298	9,298
そ の 他 の 募 金	680,000	571,998	△108,002
合 計	25,250,000	24,273,165	△976,835

## 【歳末たすけあい募金】

(単位 円)

募 金 種 類	目 標 額	実 績 額	差 異 額
街 頭 募 金	200,000	329,189	129,189
学 校 募 金	—	15,015	15,015
そ の 他 の 募 金	—	1,332	1,332
合 計	200,000	345,536	145,536